

令和5年度就職先調査報告書

進路支援委員会

対 象：卒業生が就職している企業・法人（卒業生の上司等）

実施方法：教職員が就職先企業・法人（各専攻1社）を訪問し、卒業生の上司等に半構造化によるインタビュー調査を実施した。調査内容は、①大学 DP を満たす人材かどうか、②採用時から現在の卒業生の成長・変化、③卒業生の評価できる点、強み、④卒業生の課題、⑤大学生に求める能力、⑥至誠館大学の就職支援について、⑦その他、について尋ねた。①については、各設問について「期待以上である」「期待通りである」、「期待したほどではない」、「期待外れである」、「分からない」の5段階で回答を求めた。

調査結果；

1-1 大学 DP を満たす人材かどうか

	子ども生活学	スポーツ健康福祉	ビジネス文化（萩）	ビジネス文化（東京）
仕事を理解するための常識が身につけていましたか	期待通り	期待通り	期待通り	期待通り
専門的な知識や技術を身につけていましたか	期待通り	分からない	期待以上	期待以上
よく考えて適切な判断ができていますか	期待通り	期待以上	期待以上	期待通り
自分の考えを分かりやすく発言できていますか	期待通り	期待通り	期待通り	期待以上
誠実に主体的に業務に取り組んでいますか	期待以上	期待以上	期待通り	期待以上
職場でコミュニケーションがとれていますか	期待以上	期待以上	期待通り	期待通り
報連相を心掛けるなど、協調的に行動できていますか	期待以上	期待以上	期待以上	期待通り

1-2 採用時から現在の卒業生の成長・変化

子ども生活学専攻	<p>入職当初は頑張る時期でもあったため、かなり仕事を覚えるなど積極性をもって頑張っていたが、その後落ち込む時期もあった。現在は、彼が実習生として関わった時期や現在実習に来る学生たちと比較すると、その差はしっかりとある。</p> <p>利用者へのかかわり方も良く、利用者の情報もよく知っている。本苑のことはよく理解出来ているが、法人内の他施設等へ出向いての交流研修や外部の研修を通じて、外部の人との関りや学び直しを今後する時期だと思う。社会人としてのリズムをしっかりと作っている。本法人の幹部候補として今後も期待したい。</p>
スポーツ健康福祉専攻	<p>現場で分からない事を上司に聞くなど前向きに取り組んでいる。組合員への対応もしっかり出来ている。仕事で課された課題も達成しており、同期の悩みなども聞き、手助けしている。</p>
ビジネス文化専攻 (萩)	<p>仕事に就いて長く経っていないが、仕事に主体的に取り組んで行動するようになってきた。</p>
ビジネス文化専攻 (東京)	<p>採用当初は不平不満等を言い、言うことを聞かないこともあったため、1年間じっくり指導を行った結果、指導の内容を理解し改善した。</p>

1-3 卒業生の評価できる点、強み

子ども生活学専攻	<p>「誠実さ」、「まじめさ」、「がんばれるところ」、「丁寧な言葉遣い」が特に評価できる点である。彼のことを他者がみたときの安心感がある。ただし、イエスマンの的なところもあるため、本人がそのことを自覚することで成長へのきっかけとなることを期待したい。</p>
スポーツ健康福祉専攻	<p>仕事に対して前向きに取り組む姿勢、人に合わせて行動することが出来、相手を大事にする姿勢が評価できる。</p>
ビジネス文化専攻 (萩)	<p>優しい性格の持ち主で、職員間の人間関係もよく、介護の現場においても人当たりが良い。</p>
ビジネス文化専攻(東京)	<p>大変積極的な人物であるため、現在は部署の主力として働いてもらっている</p>

1-4 卒業生の課題

子ども生活学専攻	物事に対して解決する力はこれからであるが、着実に成長している。利用者の対しての課題分析がもう少しできるようになれば良いと思う。利用者に対しての「見立て」やソーシャルワークの未熟さはある。しかし、伸びしろはあるので、これから期待したいと思う。
スポーツ健康福祉専攻	現在のところ、特筆すべき課題はみられない。強いてあげるなら、優しい性格のためキャリアアップ後にどのように対応できるのかが将来的な課題である。
ビジネス文化専攻（萩）	特にない。
ビジネス文化専攻（東京）	かつてのブラック企業やパワハラが横行していた時代に比べれば、今は自由な発言も環境も整っているが、最低限の礼節を理解し、上司の指示をすぐに受け入れ、職場の関係性に十分な配慮ができるような教育がされていると良い。ただ、現場でもその指導は行える。

1-5 大学生に求める能力

子ども生活学専攻	即戦力について本当は必要だが、向上心があり、真面目な人を求めたい。また、困ったときに困ったと言える人であれば、本人もその方が生きやすいと思う。本苑ではLINE ワークスを用いているので、直接的には言えないこともそこで言えるような工夫をしている。能力は最初から求めない。力んでがんばる人が多いので、頑張らなくていいということも言うことがある。
スポーツ健康福祉専攻	チーム力、協調性を求めている。大学中に学内外で様々な人と関わっていることが望ましい。関わるのが苦手であっても、苦手に向き合っている姿勢は評価したい
ビジネス文化専攻（萩）	前向きに仕事に励み、また専門分野の知識も備えてほしい。
ビジネス文化専攻（東京）	意欲的に仕事に取り組む努力・姿勢を重視している。就職を希望したものの採用に至らなかった者には、休みの時期や期間について気にする発言などをしていた。こういった者は、実際の現場では、有効な仕事のタイミングを逃すことになる。少なくとも営業職には向いていないと判断している。 毎年5人の新入社員を入れるが、その中の数名は離職した者の補充の人員で、やる気のない者は給与の違いから淘汰されるためである。

1-6 至誠館大学の就職支援について

子ども生活学専攻	学生がいることで、事業所が助かっている。大学が存続することが大切であり、今後も連携ができれば有難い。共有できる取り組みが互いに必要である。
スポーツ健康福祉専攻	至誠館大学の採用は、本学生が初めてである。就職先アンケートでの訪問は、福岡県内でも実施しているところはないため、丁寧な印象を受けている。
ビジネス文化専攻（萩）	今後、後輩も続いてほしい。萩で就職する学生が増えてほしい。
ビジネス文化専攻（東京）	今回の卒業生はとても良い人材であったし、今後も積極的に卒業生を雇用したいと考えている。

1-7 その他

子ども生活学専攻	特になし。
スポーツ健康福祉専攻	次年度、企業説明会をお願いしたいとの話があった。
ビジネス文化専攻（萩）	特になし。
ビジネス文化専攻（東京）	自動車運転免許は持っているといい。